

2024 年 5 月 3 日

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 楽農倶楽部 多摩
 代表者・役職名 氏名 花谷修一

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

多摩市住民による野菜作りをとおした2050年の大人づくり

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成18年に高齢農家から休耕農地を借り、団地の仲間を中心に開墾から土づくりを始めて野菜作りをスタート。栽培種も増え団地市場開設や地域コミュニティの輪が広がりました。現在では教育事業に活動内容を広げ準会員を含めて16名で活動。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

「隣は何をする人ぞ」ニュータウンを楽しい暮らしにするには、皆が集まり何かを始めることでした。結果、団地住民による野菜作りをとおしたまちづくりがスタートしました。地域での2050年の大人づくりを目的に、教育委員会・学校と連携して放課後教室の活動を進めています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

○野菜づくり・販売事業:育苗から美味しい野菜を生産し、地域に販売
 特に採れた野菜を高齢者のコミュニティ(茶話会)に一部販売、一部お裾分けとして提供。
 ○環境事業:多摩市と連携し、生ゴミリサイクルサポーターとして生ゴミ及び落ち葉の堆肥化活動
 ○多摩市立東愛宕中学校にて養蜂活動の支援活動
 ○西落合小学校での放課後教室。
 ・2023年度は年間20回の放課後教室を開催し、サッカー、ドッチボール等での子供達の交流に加えて、野菜作りの話、プログラミング等のコンテンツを提供。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

野菜作りとその販売活動を通して、これを活動の基盤にして地域との親睦の和が広がっています。特に高齢者のコミュニティの活性化に貢献し、野菜を提供することで非常に感謝されています。加えて放課後教室(西落合小学校)の活動を主導することで、大人と子供の交流を支援することで、地域の大人の持つ様々なノウハウを子供に伝達する活動を通し、多くの学校関係者から感謝の言葉をいただいております。地域の良い循環が廻っています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

格差社会の拡大、貧困の連鎖が顕在化しました。結果、少子高齢化は更に顕在化し、政治経済福祉問題に留まらず、希望を持ってない若者や子供たちが現れている社会にあって、「地域が子供を育てる」という理念のもとに更に子供たちとの交流を継続し、この理念に賛同していただける会員を増やすことが課題です。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

楽農倶楽部 多摩

真如苑助成事業



皆んなで楽しみながら
安全・安心美味しい野菜作り

- ・ 1400㎡の広大な畑 町田 小山田
- ・ 夏季 週3回 冬季：週2回 午前
- ・ 皆んなでするから素人歓迎！



2050年の大人作りプロジェクト

ハチミツ作り支援 PJ



養蜂箱からハチミツ採集
於 東愛宕中学校



(上) 土を入れた牛乳
パックに種を植える児
童たち(右) 新井代表
がプロジェクトを説明



緑のカーテン・PJ